



# えほんだより



令和4年12月1日(木) 賀茂保育園

少しずつ寒くなり、冬が近づいてきました。絵本の貸し出しがお休み中ですが、子どもたちは毎月しゃくなげ号が来るのを楽しみに待っています。また、子どもたちは、絵本が大好きで、読み聞かせを楽しんだり、気に入った絵本を手にとって見て、保育園の生活の中で絵本にたくさん触れています。今回は、しゃくなげ号の本のことで、賀茂保育園の先生たちが選んだお薦めの絵本を紹介したいと思います。寒くなり、室内で過ごす時間が増えたかと思います。親子の触れ合いで絵本に親しんではいかがでしょうか？

## しゃくなげ号



毎月第1木曜日に、しゃくなげ号がたくさん絵本を持って来てくれます。コロナ感染症のことがあり、現在貸し出しはしていませんが、しゃくなげ号の絵本のコーナーに絵本を入れて、いつでも見れるようにしています。以上児向けの絵本コーナーと、未満児向けの絵本コーナーがあります。子どもたちが絵本を見るだけでなく、保育者が絵本の読み聞かせをする時に、しゃくなげ号の絵本を使うこともあります。

使用した絵本は、感染対策で、曜日ごとに分けたコンテナに入れて3日置いてから絵本のコーナーに戻して読めるようにしています。



未満児向けの絵本コーナー



以上児向けの絵本コーナー



使用済みの絵本を入れるコンテナ



## 賀茂保育園の先生のおすすめの絵本の紹介



園長先生のおすすめの絵本



「さっちゃんのまほうのて」

右手の指が無い先天性四肢欠損という障がいがある、さっちゃん。幼稚園の友だちの言葉に傷つきながらも、お母さんやお父さんの言葉で現実を受け入れながら力強く歩き始めます。さっちゃんの元気で力強いキャラクターは私たちにも元気をくれます。



賀須井先生のおすすめの絵本



「ぐるんぱのようちえん」

子どもの頃から大好きな絵本で、何度もワクワクしながら読んでいました。ひとりぼっちだった大きなゾウのぐるんぱが、巨大な物を作って失敗を繰り返し、今まで作った巨大な物を使って幼稚園を作ります。次はどんな物ができるのか、想像が刺激される楽しいお話です。



安達先生のおすすめの絵本



「もいもい」

赤ちゃんと一緒に作った赤ちゃんのための絵本です。赤ちゃんが泣きやむ！と話題の絵本！！赤ちゃんが泣いた時に困った時は、この絵本がオススメですよ！

あっ!どの年齢にも、効果あり!?(笑)